

地歴 問

地理歴史等

令和 2 年度(前期日程)

注意事項

- 1 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は1冊(本文24ページ、下書用紙2枚)で、解答用紙は1枚です。下書用紙は問題冊子の中に挟み込んであるので、引き抜いて使っても構いません。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰って構いません。
- 3 すべての解答用紙に受験番号を書きなさい。なお、受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 50001 番の場合 →

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

- 4 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上5科目のうちから1科目を選んで答えなさい。さらに、選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書きなさい。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 →

						2
--	--	--	--	--	--	---

- 5 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書きなさい。他のところに書いても無効になることがあります。また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書きなさい。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができます。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構いません。なお、問題番号は問題ごとに指定された解答字数に含めます。

(例) Iの「問1」の場合 → I

1	
---	---	---	---	---	---	--

--	--	--	--	--	--	--

世 界 史

I 次の文章は、ルターがその前年に起こった大規模な反乱について1525年に書いた著作の一部である。この文章を読んで、問いに答えなさい。(問1, 問2をあわせて400字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

(「農民の殺人・強盗団に抗して」『ルター著作集』第1集第6巻より引用。但し、一部改変)

問1 下線部は「農民たち」によって提出された要求を比喩的に説明したものである。具体的にはどのような要求であったか述べなさい。

問2 「聖書のみ」というルターの主張は、各方面に大きな影響を及ぼした。「農民たち」が考える「聖書のみ」と、ここでルターが表明している意見の相違はどのようなものであり、どのような理由で生じたと考えられるか、述べなさい。

Ⅱ 20 世紀中葉において資本主義世界の覇権がイギリスからアメリカ合衆国に移行した過程を，19 世紀後半以降の世界史の展開をふまえ，第 2 次世界大戦・冷戦・脱植民地化との関係に必ず言及して論じなさい。(400 字以内)

Ⅲ 次の文章 A, B を読んで, 問いに答えなさい。(問 1, 問 2 をあわせて 400 字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

(糟谷憲一「朝鮮ナショナリズムの展開」『岩波講座世界歴史 20 アジアの〈近代〉』より引用。但し, 一部改変)

問 1 は、17 世紀の国際関係の変化を受けて高揚した、自国に対する朝鮮の支配層の意識を示す言葉である。これを記しなさい。

問 2 意識がいかなるものであり、どのような背景があったのか、また、それが 1860～70 年代にどのような役割を果たしたのかについて、それぞれ国際関係の変化と関連付けて述べなさい。

日 本 史

I 次の史料1～3を読んで、下記の問いに答えなさい。史料は書き下しの上、一部
改変したり省略したりしたところがある。(問1から問5まですべてで400字以内)

史料1

四民共に行旅の事は、故なくしてはする事なき物なり。土は君命に随て旅行し、
農商工はそれぞれ家職の為、或は後世菩提に信を起して国々を巡礼修行する有り。
余情の人有りて、慰み遊山の為に旅行する、世に稀なり。さなくしては唯だ我が屋
に居て起臥の心の促なる楽みにしくはなし。とにかくに旅行はつらき物なれば、か
はゆき子に旅をさすべしと言ふ諺、尤も可なり。

史料2



史料3



- 問 1 史料1は、『民間省要』の一節である。『民間省要』とはどのような書物か。史料2あるいは史料3に描かれていることと関連させながら、説明しなさい。
- 問 2 下線部(a)に関わって、『民間省要』の作者らに課せられた負担について、史料2あるいは史料3に描かれていることと関連させながら、説明しなさい。
- 問 3 下線部(b)に関連して、行商と出店のかたちで活動した商人を一つあげなさい。
- 問 4 下線部(c)の旅は中世でも行われた。中世の巡礼を具体的に挙げるとともに、それとくらべて、近世の巡礼の特質はどこにあるのか、説明しなさい。
- 問 5 下線部(d)について、『民間省要』が書かれた時代では稀であるとしているが、後に盛んになる。盛んになった時期はいつかを指摘するとともに、その背景について史料2、史料3と関連させながら説明しなさい。

- Ⅱ 次の史料は、随筆『みみずのたはごと』の一節である(一部を省略のうえ、表記を改めている)。これを読んで下記の問題に答えなさい。(問1から問4まですべてで400字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

* 踐祚…皇位を継承すること

- 問1 この随筆に先だって『国民新聞』に連載してベストセラーとなった小説『不如帰』などで知られる、この随筆の作者の氏名をあげなさい。
- 問2 下線部(a)(b)に関して、直接の根拠になった当時の「皇室典範」には「明治元年ノ定制ニ従フ」とある。ここで「明治元年ノ定制」とされた制度の名称をあげ、その内容を説明しなさい。

問 3 下線部(c)に関して、明治天皇への践祚と「即位式」とのあいだには、1年以上の隔たりがあり、この間に天皇の政治的な位置づけは大きく変化した。この変化について、当時の政治的な動向をふまえながら説明しなさい。

問 4 この随筆の作者が下線部(d)のように感じた背景には、さまざまな機会に天皇の存在が人びとの意識のなかに浸透していったことがあると考えられる。この点に関して、明治なかば以降の出来事がどのような影響を及ぼしたと考えられるか、下記の語句をすべて用いて説明しなさい。

教育に関する勅語 大日本帝国憲法 日清戦争 戊申詔書

Ⅲ 1889年2月の大日本帝国憲法(明治憲法)の公布によって、日本でも近代的議会制度が成立した。しかし、その後、日中戦争以降の戦時体制への移行に伴って、日本における議会制度は大きく変容していくことになる。議会制度の歴史について、下記の問いに答えなさい。(問1から問5まですべてで400字以内)

問1 大日本帝国憲法では、「帝国議会」は貴族院と衆議院によって構成されると規定していた。貴族院と衆議院の違いについて説明しなさい。

問2 大日本帝国憲法では議会にどのような権限が与えられていたか、議会の権限について具体的に説明しなさい。

問3 1938年4月には、戦時統制を強化するための重要な法律が公布されている。その法律の名前をあげ、同法によって議会の権限が実質的にどのように変わったか、具体的に説明しなさい。

問4 1940年10月には大政翼賛会が成立した。成立の経緯についても触れながら、大政翼賛会が実際に果たした役割について具体的に説明しなさい。

問5 1942年4月には5年ぶりの総選挙が行われた。従来との相違に留意しながら、この総選挙について具体的に説明しなさい。

地 理

I アフリカにおける携帯電話などの普及に関する次の文章を読んで、問いに答えなさい。

携帯電話の利用はアフリカでも近年急速に広がっている。サブサハラアフリカ(サハラ以南アフリカ)、すなわち北アフリカを除いたアフリカでは、携帯電話サービス利用者数(加入者数)は2012年の2億8700万から2018年には全人口の44%に相当する4億5600万に達したと推計されている。国別で見ると、表I-1に示したように、サブサハラアフリカの10か国程度で人口100人当たりの加入者数が100人を越えた。このように携帯電話の普及は進んでいるが、スマートフォンの割合は低く(携帯電話のうち39%, 2018年)、またインターネットを利用する人口の率は低い。

セーシェル、モーリシャス、カーボベルデを除くと、固定電話はほとんど普及していなかったから、携帯電話はアフリカの多くの人々に初めて通信手段を与えたと言える。アフリカでも携帯電話は通話に用いられるだけではない。民間企業、公的機関双方が携帯端末を様々なサービスの受信機として使うようになっている。

民間における成功例として有名なのが、ケニアで最初に広まった、携帯電話を利用した送金やキャッシュレス決済などのサービスの提供で、「モバイル金融」とか「モバイル・マネー」と呼ばれる。都市へ出稼ぎに行った労働者が農村の家族に送金するといった需要が幅広く存在していたが、多数の人々に利用可能な個人金融サービスが少なく、たとえば銀行を利用した送金は盛んではなかった。ケニアの携帯電話会社が2007年に始めたモバイル金融サービスは送金サービスを中心に人気を博し、サービス開始後3年で国民の4割が利用するほど爆発的に普及した。

問1 サブサハラアフリカにおいて携帯電話加入者上位を占める国には携帯電話の普及に関係する条件や特徴があったと考えられる。表I-1に示した番号1から5のような国はどのような条件、特徴の国か、個々の国に言及しながら説明しなさい。対比するなどのために1から5以外の国に言及してもよい。なお、個々の国に言及する時は、例えば「南アフリカ共和国」という国名で書く代わりに「2」というように表I-1中の番号で略称してよい。(175字以内)

問 2 アフリカで携帯電話が、パソコン利用によるインターネットよりも急速に普及したのはなぜだと考えられるか説明しなさい。携帯端末・パソコンの普及の度合い、使いこなすのに必要な能力の違い、通信網の整備に言及すること。
(125 字以内)

問 3 ケニアで銀行よりも携帯電話の金融サービスが広まった理由としてどのようなことが考えられるか説明しなさい。(100 字以内)

表 I-1 サブサハラアフリカから選んだ国の電話加入者数とインターネット利用者人口比率

**著作権保護の観点から、
公開していません。**

出所：World Bank, Africa Development Indicators 2012/13
World Bank, World Development Indicators 2015, 2018, 2019 各年版より作成。

Ⅱ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

表Ⅱ－1は、1964年以降のオリンピック大会(冬季大会を除く)について、開催に向けた最終立候補を国際オリンピック委員会(IOC)に対して行った都市の一覧である。このうち下線を付けた都市で大会は開催された(2020年以降は開催予定)。

立候補都市は世界に広がり多岐にわたるが、大陸・地域を越えて似た特徴をもつ場合がある。立候補する都市の数が時期によってかなり変化してきたことも、表Ⅱ－1から読み取れる。多くの都市がオリンピック開催をめざす時期もあれば、立候補都市の数が限られる時期もあった。オリンピックは、取り巻く情勢や条件の変化もあり、開催に当たって多くの課題や困難に直面するようになっている。

問 1 下線部(1)に関連して、1964年から1992年にかけての立候補都市には、大陸・地域を越えて似た特徴をもつ都市のグループ(都市群)を見出せる。このうち異なる大陸・地域にまたがる2都市以上を含む都市群を2つ選び出し、それぞれについて、共通する特徴、属する都市の名称を順に答えなさい。同一都市が2つの都市群に含まれていてもよい。都市数が多い場合には一つの都市群について任意の5都市までを列挙すること。(125字以内)

問 2 下線部(2)に関連して、1992年大会以降、立候補都市が大幅に増加したことが表Ⅱ－1から読み取れる。この増加はなぜ起きたと考えられるか。世界情勢の変化、都市が直面する条件の変化などに留意しつつ、1992年から2000年までの立候補都市名を具体的に挙げながら、説明しなさい。(150字以内)

問 3 2012年以降の開催都市(2016年は除く)と、それ以前の開催都市には特徴の違いを読み取ることができる。また2012年以降、立候補都市の数も変化している。どのような違いや変化があるかを説明した上で、下線部(3)に関連し、オリンピックがどのような課題や困難に直面しているか、都市にまつわる要因、大会開催にまつわる要因の両方に留意しながら論じなさい。(125字以内)

表Ⅱ－1 1964年以降開催のオリンピックに向けた立候補都市(冬季除く)

著作権保護の観点から、
公開していません。

注：最終立候補をIOCに対して行った都市を示す(制度の変化もあり，一部例外を含む)。下線は開催都市(2020年以降は予定)。イスタンブールはアジアに含めた。

資料：J. E. Findling and K. Pelle, *Encyclopedia of the Modern Olympic Movement*, 2004 ほかより作成。

Ⅲ 水産業に関する以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

1973年に当時のアフリカ統一機構(現・アフリカ連合)は排他的経済水域(EEZ)の設定を提唱し、たとえば沖合に好漁場の広がるアフリカ大陸北西沿岸の各国はこれを設けて漁業振興に着手した。⁽¹⁾その後、1982年にEEZを定める国連海洋法条約が採択されたのを先取りするかたちで暫定的に200海里水域を設ける国が相つぎ、これは世界の水産業を変化させることになった。たとえば、図Ⅲ—1が示すように、各国のEEZは日本の水産業を著しく変えた⁽²⁾し、その変化は、1989年に国連において大規模公海流し網禁止決議が採択されたことによって、さらに促された。

各国によるEEZの設定は漁業活動を公海に集中させ、1980年代末をピークに世界の漁業資源は減少し始めたとされる。これは、1990年代末に国際的な非営利団体が持続可能な水産業を目指して水産エコラベル認証に乗り出すきっかけとなった。この制度は、漁業者、流通業者、小売業者、レストラン等の提供する水産物が持続可能な漁業・養殖業に由来することを証明し、その消費を促そうとするものである。だが、魚種や漁業者・水揚げ場を多く抱え、かつ資源調査のための資金・技術が不足している国がこの制度の定める漁獲可能量等を遵守するのは難しく、水産エコラベルの国際的な広まりには懸念が示されている。他方、資源管理や違法漁業等の取り締まりなど水産資源管理能力の向上や、さまざまな経済的効果を狙って、⁽⁴⁾日本政府はこうした諸国への開発協力(開発援助)において零細漁業の振興を重視するようになった。

問1 下線部(1)について、この海域が好漁場となる理由を、気候および海洋の動きを具体的に説明しながら述べなさい。(75字以内)

著作権保護の観点から、 公開していません。

図Ⅲ—1：日本の漁業・養殖業生産量の変化

注：捕鯨業の生産量，水産加工業の生産量，および内水面(河川・湖沼等)での漁業・養殖業の生産量を除く。

出所：農林水産省 漁業・養殖業生産統計より作成。

問 2 海面で行われる漁業は，漁港と漁場の間の距離，漁に要する日数，漁船の規模等によって3つの種類に分けられる。図Ⅲ—1は，これらに海面での養殖業を加えてそれぞれに丸番号を与え，それぞれの生産量を積み上げて示したものである(捕鯨業，水産加工業，および内水面漁業・養殖業を除く)。これら4種類の水産業のなかから本文の下線部(2)に関連する最も適当なものを一つ選び，その丸番号およびそれが示す水産業の種類を答えながら，その水産業の生産量がなぜ，どのように変化したのかを説明しなさい。(125字以内)

問 3 下線部(3)について，とくに生産国の関係者はどのような理由で水産エコラベルに懸念をもっているのか，説明しなさい。(100字以内)

問 4 下線部(4)について，水産資源に恵まれた発展途上国がそれら資源の管理能力を高めるために零細漁業の振興を必要とする理由を答えなさい。つづけて，零細漁業の振興によって期待される経済的効果について説明しなさい。(100字以内)

倫理, 政治・経済

I 次の会話を読み、下の設問に答えなさい。

- A 歴史を振り返ってみると、これまで多くの時代の庶民は、自分の住んでいる地域から出られず、職業も選べず、多様な文化や芸術に触れられなかったどころか、読み書きさえ満足にできず、生きて子どもを残していくために厳しい労働をして、現代人よりずっと早く死んでいったようだね。そういった人々と比べると、私は本当に幸せだと感ずるよ。
- B そうかな？ 確かに彼らはわれわれに比べれば物質的な生活水準は低かっただろうが、現代人のように自分の手の届かない所にある贅沢のことを知ってうらやましがることなどあまりなかっただろうし、よそに行きたいとか別の職を選びたいといった欲求自体を持っていなかったかもしれない。もし彼らが彼らなりに自分の生活に満足していたとしたら、われわれよりも不幸だとは言えないだろう。
- A 仮にあなたが言うように当時の人たちが自分の生活に不満を持っていなかったとしても、それは彼らの置かれていた環境がもともと貧しいものだったからでしょう。そんな状況で人が持つことになる欲求は不当に制限されたものになりそうだ。彼らは豊かな環境の下ならば、もっと自分の能力を発揮して充実した幸福な一生を送れたに違いないよ。^①
- B あなたがそう思うのはあなたがこの現代に生きているからで、昔の人とは基本的な価値観が違うから、幸福を比較することは難しい。自然に密着した生き方をしていた当時の人から見れば、現代人の生き方は些細な利便にあくせくした、地に足のついていないものと映るかもしれないよ。幸福は人が何を持っているか、何を手に入れられるかで決まるのではなくて、本人の心の持ち方次第だ。いくら恵まれた状況にあっても不平不満を抱えていたら不幸だし、つましい暮らしをしていても生きがいがあって生活に満足できたら幸福だろう。それになまじ選択肢が与えられると、後で後悔することも多くなる。
- A 私は限られた生活に自己満足するくらいなら、もっと充実した生活をしたくて^②不満を感ずる方が幸せだと思う。

問 1 下線部①のように、人間の幸福とは人間にふさわしい機能・能力を発揮させることから生ずると考えた古代ギリシアの哲学者がいます。その哲学者は誰で、いかなる著作で、どのような幸福論を述べたのかを説明しなさい。(200字以内)

問 2 下線部②のような発想を「満足した豚であるより、不満足な人間である方がよく、満足した馬鹿であるより不満足なソクラテスである方がよい」と表現したイギリスの哲学者がいます。その哲学者は誰で、いかなる著作で、いかなる思想史的文脈で、いかなる理由によってそのように主張したかを説明しなさい。(200字以内)

Ⅱ 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

(最高裁判所大法廷平成 23 年 11 月 16 日判決から抜粋)

問 1 下線部①に関連して、陪審制や参審制と比較して裁判員制度はいかなる特色を有するといえるか、説明しなさい。(200 字以内)

問 2 下線部②に関連して、国民と法曹のそれぞれの長所を生かした刑事裁判を実現するうえで、国民と法曹の双方の課題は何か、説明しなさい。(200 字以内)

Ⅲ

1 表は、米国と日本における上位1%の富裕層の所得が総所得に対して占める割合(以下、上位1%シェア)を示している。両国ともに戦前は上位1%シェアが16%から19%と高い水準を維持してきたが、戦後になるとこのシェアは一端低下した。しかし、2010年になると日本の上位1%シェアが10%なのに対して、米国では20%まで上昇している。近年になって日米で上位1%シェアに相違が生じている理由について論じなさい。(150字以内)

<表 日米における上位1%の富裕層の所得シェア>

**著作権保護の観点から、
公開していません。**

出所：World Inequality Database

2 以下の問題に答えなさい。

- (1) 図は日本の産業別就業者割合の推移を示している。この図からわかる通り、経済が発展してゆくにつれて、一次産業の就業者が減少し他産業の就業者が増えている。数値をあげると、一次産業の就業者割合は1955年には38%だったが2018年には3%まで低下している。こうした産業構造の変化に関する法則のことを何とというか、答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

(出所)総務省統計局「労働力調査」

- (2) 我が国の税制史において、税務当局が所得の何割を把握しているかという所得捕捉率に対する不満は一貫して高かった。例えば、サラリーマンは源泉徴収という徴税方法で所得の9割以上を捕捉されるのに対して、自営業者は6割、農家は4割しか捕捉されていないと言われてきた。この所得捕捉率の業種間格差に対する不公平感を表す語を答えなさい。
- (3) (1)の法則に従って、我が国では一貫して一次産業の雇用が減少してきた。また、近年では一次産業以外の自営業者の割合の低下も指摘されている。戦後の産業構造の変化が税・社会保険料負担における水平的公平性にどのように影響してきたか、水平的公平性とは何かを説明しながら論じなさい。(200字以内)

ビジネス基礎

I 図1は、1984年から2018年までの非正規の職員・従業員の割合の推移のグラフである。図2と図3は、1984年から2018年までの雇用形態別の雇用者数のグラフである。図2は男性、図3は女性についてのグラフである。表1から表3をもとに、次の問に答えなさい。

問1 図1、図2、図3から読み取れる特徴を述べなさい。(200字以内)

問2 この34年間で、非正規の職員・従業員の割合が増加した理由について、あなたの考えを述べなさい。(200字以内)

図1 非正規の職員・従業員の割合 1984年～2018年

著作権保護の観点から、
公開していません。

図2 雇用形態別雇用者数 男性 1984年～2018年

著作権保護の観点から、公開していません。

図3 雇用形態別雇用者数 女性 1984年～2018年

著作権保護の観点から、公開していません。

(出典) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構のWebサイト

「早わかり グラフで見る長期労働統計」

Ⅱ デジタル技術の進歩により、大量で多種多様なデータをリアルタイムに利用することが可能となっけてきている。このような変化が企業活動にどのようなインパクトや課題をもたらそうとしているのかについて、あなたの考えを述べなさい。(400字以内)

Ⅲ 企業の資金調達には直接金融・間接金融の区別があるが、直接金融に相当する資金調達の方法を2種類あげ、それぞれの内容を説明しなさい。(400字以内)